

10 月 25 日：不透明感が広がり VN 指数は下落 (VN-Index -0.38%)

- 米国株の反発の流れを引き継ぎ、VN 指数は上昇して取引を開始した。
- 不動産セクターが相場をけん引した。政府が同セクターに対し、法的な面、資金面、金利面においてサポートする方針を打ち出していることが好感された。
- しかしながら、投資家心理は依然として不透明感が高まっており、流動性が非常に低かったことから相場は弱含み始めた。
- 午後に入っても軟調な展開は続き、売りが加速した。その後、指数は下落して取引を終えた。
- 190 銘柄が上昇、274 銘柄が下落、94 銘柄が横ばいとなった。
- 流動性はわずかに 5.7%ほど改善し、11 兆ドンとなった。

VN30 指数はわずかに VN 指数を上回る (VN30 -0.34%)

- 大型株で構成される VN30 指数は 8 銘柄が上昇、20 銘柄が下落、2 銘柄が変わらずだった。
- VIC (+2.88%)、VHM (+0.67%)、MWG (+1.16%) などが大きく上昇していた。
- 一方、大きく下落した銘柄は VNM (-1.85%)、CTG (-1.69%)、STB (-1.50%)、MSN (-1.35%) などだった。

セクター・個別株の動き

- ビンズオン省関連の銘柄が上昇。大手ジュエリーの Pandora が同省にて工場建設の意向を示したことから、ACC (+6.98%)、BCE (+6.91%)、TDC (+6.51%) はストップ高まで上昇した。
- ANV (-1.04%) は上昇して取引を開始したものの、下落して終えた。同社の第 3 四半期の純利益は 10 億ドンのみにとどまった。

- 外国人投資家は5,580億ドルの売り越しとなった。個別銘柄ではVICとDCMが最も売られた。一方、DGCが大きく買われていた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。